

公表

事業所における自己評価総括表(令和7年度)

○事業所名	栗東市児童発達支援センターたんぼぼ教室		
○保護者評価実施期間	令和8年2月6日 ~ 令和8年2月27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	76	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和8年2月19日 ~ 令和8年2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 親子同室の児童発達支援を実施している 保護者と一緒に療育に参加することで子どもの関わり方を学ぶことができるとともに、子どもの様子がわかり成長に気づくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 親子で楽しむことができる活動を設定している 家庭での子どもの関わりに生かすことができるよう、支援者がこどもの関わりを示す 生活面や活動と一緒に参加することにより、子どもの成長を直接感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 支援者が子どもへの関わり方の見本を示しつつ、保護者が主体的に子どもと関わるができるよう支援する
2	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての悩みを早期に受け止めることができ、悩みを共有することにより、保護者の不安感が軽減される 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に懇談の場を設ける 保護者同士が交流できる場を設定し、子育てに関する情報を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者ミーティングにて研修会の振り返りを行うとともに、ペアレントトレーニング等を実施する
3	<ul style="list-style-type: none"> 園や関係機関と連携を図っている 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回園とのケース連絡会を実施している 保護者の同意のもと支援計画を交換し、支援目標や支援方法を共有している 他機関とのケース連絡会を実施し、情報を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて連絡会以外での情報を共有する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 活動が活発なクラスでは、子ども同士の衝突が見られる事がある 	<ul style="list-style-type: none"> クラスによっては子ども、保護者、支援者が20人を超えるため、活動の制限が生じる 幼児の特性上、動きが活発になる 	<ul style="list-style-type: none"> 活動によっては2グループに分ける 衝突が起きないように工夫して遊具を設定し、動線を確保する
2			
3			